

様式第2号(第10条関係)

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

平成29年度第3回本匠地域振興審議会

2 開催日時

平成29年9月5日(火) 19時00分から22時00分まで

3 開催場所

所在地 佐伯市本匠大字波寄2685番地

会場名 本匠振興局 2階 大会議室

4 出席者

会長：河原博秋

委員：川野圭一郎、三原志保、川野敦子、中山 淳

三浦章吾、柴田浩美、磯川利恵子

10名中8名出席

(市職員)

本匠振興局長：出納 司

地域振興課：菅原直道、品矢光賢、大友富茂、甲斐龍一郎

地域おこし協力隊：川野幹雄

計6名

5 公開、非公開の別

公開

6 傍聴人数

0人

7 議題及び結果

議題

(1) 第2次佐伯市総合計画(地域別計画)の策定について

(2) その他

8 審議の内容

(1) 第2次佐伯市総合計画（地域別計画）の策定について

事務局より前回のグループごとの意見交換の結果を取りまとめ、分野ごとに集約して報告を行なった。

《会議内容》

事務局：前回の審議会に出た意見を分野ごとにまとめました。追加したい事や解釈の違う点がありましたら発言をお願いします。

委員：自然生活環境の分野に本匠が番匠川の源流であることを追加し、川を守る取り組みを行なうべきだと思います。最近は川でバーベキューを行ない、そのままゴミを放置して帰る人が増えています。

委員：川の自然環境を守る取り組みは必要ですが、地域別の計画でどのように取り組むかについては、方法を考えなくてはいいけませんね。

事務局：バーベキューを行なっている場所は限られますので、看板を立てる等の対策を行なう事も出来ると思います。

委員：教育文化について事務局から地域文化の伝承についての意見が出ていないという話がありました。本匠の地域文化をどのようにして継承していけばいいと思いますか。

委員：杖踊りは5年ほど前くらいからどの地区も実施しておらず、踊りや拍子を知っている人の高齢化が進んでいます。映像などで記録を残し後年へ伝えることも必要と思います。

事務局：では、地域文化の継承についても地域別計画に盛り込みたいと思います。

事務局：次に、6つの分野ごとの意見を集約しましたので、皆さんから意見を聞かせてください。

委員：自然生活環境の分野で、番匠川の清流を維持するという文言を入れた方が良いのではないですか。

委員：保健医療福祉の分野で、「健康で生きがいを持ち、住民のふれあいがある福祉の地域」という文章は健康と福祉の2つに分けた方が分かりやすいです。

委員：教育文化の所の国際交流を推進するという計画を、本匠地域で行うのは難しくないですか。先に述べた文化の継承についてもここに入れたらよいと思います。

委員：産業振興について、農業で生計が立てられることと農業の後継者を作ることは一つにまとめて良いのではないですか。生活が出来るほどの収入にならないから後継者がいないのだと思います。

委員：どの分野になるかわかりませんが、本匠の人材を生かした取り組みを行なうべきだと思います。また、若い人の移住も進んでほしいですが、本匠出身者が定年後に本匠に戻るUターンの移住を推進したら良いと思います。

事務局：分かりました。では、まちづくりの分野に入れたいと思います。そして、これらの分野の中から重点的に進めていくポイントをこれから話し合っていきます。事務局で案を作っていますのでご覧ください。

委員：子育ての環境を整備と子供から高齢者までいきいきと生活できる環境という項目はひとつにまとめる事が出来るのではないですか。

委員：道路やインフラ整備についても重点に据えてほしいですね。

事務局：道路やインフラ整備は手段と考えて、そこからどうあってほしいかを挙げて頂ければと思います。

事務局：資料2については意見が出ないようなので、一つ戻って6つの分野の各まとめから重要な所を挙げて頂けますか。

委員：各地域の細々とした意見は地域の実情を反映したものとなるでしょうが、それらを集約した意見となるとどの地域も似たような抽象的な内容になってしまうのではないですか。

委員：やはり本匠地域のまとめには道路を含んだインフラの整備について、一言入れるべきだと思います。

事務局：分かりました。子育て環境の整備といきいきと生活できる環境を1つにまとめ、そこにインフラ整備や交通体系についても盛り込んでいきたいと思っています。

(3) その他

なし

9 会議の資料名

- 1 第3回本匠地域振興審議会資料1
- 2 第3回本匠地域振興審議会資料2

10 問い合わせ先

担当課 本匠振興局 地域振興課 電話番号0972-56-5111